

## 授業力の向上に係る研究

～算数・数学等の授業を進める上での教師のコーディネートの在り方について～

福島県教育センター 主任指導主事 島貫 条司

### 1 研究の趣旨

本県の児童生徒の第一の課題は学力向上である。全国学力・学習状況調査等の各種の調査から特に、思考力・判断力・表現力など知識・技能を活用して問題を解決するために必要な力を伸ばすことが課題であることが明確となっており、そのために一層の授業の改善が必要である。

一方、全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果に着目すると、本県の場合「自分にはよいところがありますか」という質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が全国平均を大きく下回っていた。このことも、大きな問題であると考えられる。

また、震災と原発事故の影響により、児童生徒は未だに不便を強いられたり、不安を抱えたりしながら過ごしている。全国的にもいじめや自殺の問題など児童生徒の心に関する問題が数多く発生している。

これらのことから、教科指導においても、認知面と情意面の両方を重視した授業の積み重ねが不可欠であり、級友同士が仲良く、互いを尊重しながら自分の考えを出し合い、前向きに学んでいける授業が学力向上に直結すると考えた。上記研究主題を設定し、授業の進め方、子どもたちとのかかわり方に焦点を当てて、研究を進めた。

### 2 研究の概要

(1) 研究協力者の授業実践とその分析を通して、適切なコーディネートの仕方について具体化を図り、授業改善につなげた。

- ① コーディネートの「8つのポイント」の提示
- ② 「ワークショップ型授業研究」と「Yチャート」等による授業分析
- ③ ビデオ、写真や筆記による授業の記録

(2) 意識調査、各種検査によって授業改善の効果を分析した。

- ① CRTによる学力調査
- ② 研究協力者の教員・児童生徒対象の意識調査
- ③ Q-Uによる集団の親和性等の調査

### 3 成果と今後の課題

(1) 研究の成果

理論研究だけでなく、研究協力校の授業実践を通して、コーディネートの「8つのポイント」の有効性を確認することができた。

- ① コーディネートの基本
  - ・ 見取りを確実にいき児童生徒の姿をきちんと把握すること。＜把握＞
  - ・ 把握した姿をつくりあげている原因について洞察すること。＜解釈＞
  - ・ もっとも適切な手立てを選択すること。＜選択＞
  - ・ 効果的な伝え方をし実行すること。＜実行＞
- ② コーディネートの「8つのポイント」
  - ・ 温かい目で子どもを見、受容的・共感的な態度で接すること。
  - ・ 「ならぬものはならぬ」という厳しさを持つこと。
  - ・ 子どもの姿をきちんとみる、見取ること。
  - ・ 問いや意欲を子どもから引き出すこと。
  - ・ 子どもの姿や発言を褒めたり、価値付けたりすること。
  - ・ 子どもの考えをつなげたり、広げたりすること。
  - ・ 特に配慮したい「あの子」を生かすこと。
  - ・ ねらいの達成に向けて、分かる、できるようにすること。

(2) 今後の課題

コーディネートについては、一層の一般化を目指してさらに研究を深めていきたい。また、研究の成果について、Web等も利用しながら、普及・啓発に努めたい。